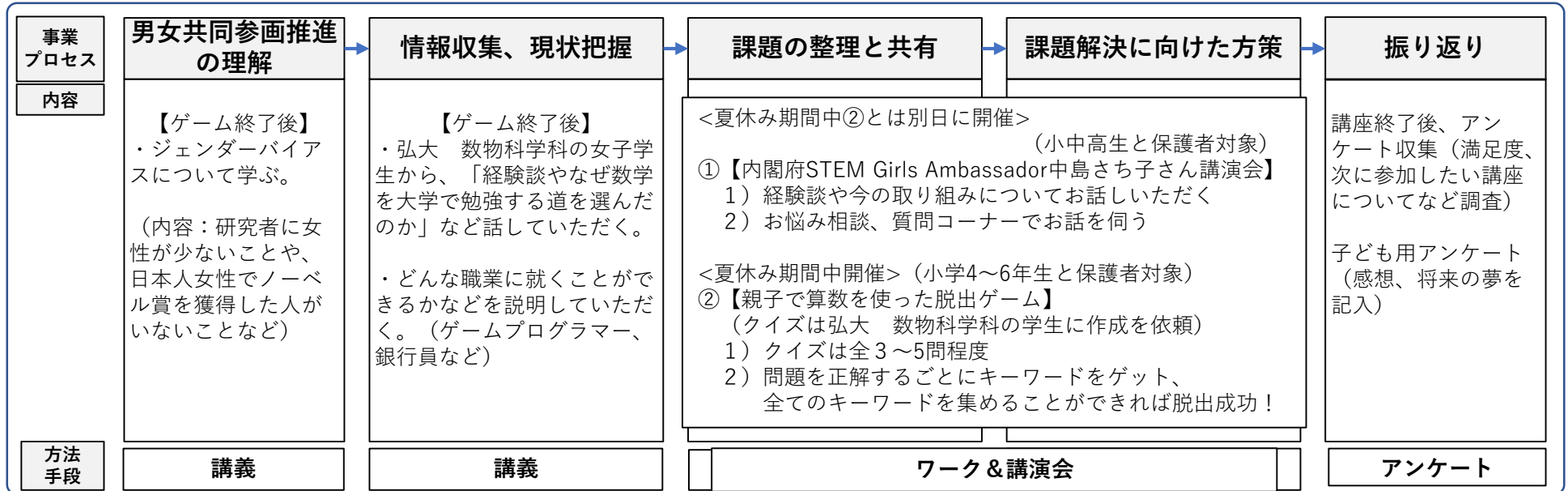


# 地域における男女共同参画を推進するためのプログラムデザイン

<b>【事業名】</b> 算数ガールズ 夏休みの大冒険 ～数字と仲良くなって脱出せよ！～	<b>【位置づけ】</b> 青森市男女共同参画プラン 第1章 「男女共同参画社会実現のための意識改革・理解促進」 第3章 「労働環境における男女共同参画の促進」
<b>問題現状</b>	学校内では教員から「好意的性別発言（良かれと思った発言）」「隠れたカリキュラム（女性は補佐的役割）」「保護バイアス（女性だから危険なことはさせない方が良いという考え）」などがあり、家庭内では保護者からの「アンコンシャス・バイアス」があることで、女性が理数系に進む道が狭まっている。
<b>課題</b>	“女性は数学が苦手”という固定観念がいまだに多くあり、それは学校や家庭の中にもある。 理数系の大学を目指す人、女性で理数系の教員を目指す人が少なく、女性エンジニアや研究員などSTEM女子が一向に増えない。
<b>事業目的</b>	ジェンダーの視点について学び、性別に関係なく当たり前に進路選択、職業選択ができることを学ぶ。
<b>事業目標</b>	子）性別に関係なく職業・進路選択の自由があることを知る。チャレンジ精神、発想力、思考力を身に着ける。 親）ジェンダーバイアスの知識を身に着け、進路・職業選択の自由を知り子どもの可能性を広げるサポート役となれるようにする。
<b>対象定員</b>	①小学校4～6年生女兒と保護者／各回15組（30名） ②小中高生と保護者／50名
<b>評価指標</b>	参加者数（10組以上）、アンケート満足度（80%以上）



<b>連携先</b>	弘前大学 理工学部数物科学科、内閣府男女共同参画推進課 理工チャレンジ事務局	<b>期間回数</b>	2回連続講座（ワーク＆講義1～2回、講演会1回）
<b>予算</b>	弘前大学 理工学部数物科学科 講師5,000円、女子学生人数×図書券1,000円分	<b>実施体制</b>	主催：青森市働く女性の家「アコール」、スタッフ：事業スタッフ2名